

## 花巻市立図書館資料選定基準

令和8年3月31日 生涯学習部長決裁

市民の生涯学習を支援し、誰もが利用できる身近な公共施設として、乳幼児から高齢者まであらゆる世代の多様な要望に応えられる資料を選定するため、花巻市立図書館資料収集方針（令和8年4月1日全部改正）に基づき、資料の選定に必要な基準を定める。

また、各図書館の施設規模や地域性に応じた蔵書構成に留意し、花巻市全体としての資料の充実を図るため、選定基準は随時見直すものとする。

### 1 共通事項

- (1) 資料の収集については、市民のニーズと資料の価値のバランスを考慮し、各分野にわたり幅広く、迅速かつ的確であることに努める。
- (2) 収集の方法は、購入によるもののほか、寄贈・受託等による受入れも十分活用する。
- (3) 各分野の基本資料（事典、辞典、便覧、白書、年鑑、図鑑、年表、統計、法令、書誌、入門書、全集等）は、使いやすく内容の充実したものを選定する。
- (4) 各分野にわたり、花巻市、岩手県及び郷土にゆかりのある先人や人物、作家等に関わるものは優先的に選定する。
- (5) 進歩が著しい分野の資料は、最新の情報に留意して選定する。
- (6) 文学賞等、各種の賞を受賞したものは、利用動向等に留意して選定する。
- (7) 文化・教育関連団体の推薦図書は、利用動向等に留意して選定する。
- (8) 所蔵している資料の改訂版、増補版、新訂版等は、利用動向等に留意して選定する。
- (9) 全集、シリーズで所蔵している資料は、欠本のないよう選定する。
- (10) 人権やプライバシーを侵害するおそれのある資料等は、研究目的の利用もあり得ることから、保存方法や提供方法を含めて、慎重に検討して選定する。
- (11) 特定の思想や団体等への勧誘を目的とした資料は、慎重に検討して選定する。
- (12) 資格試験等の参考書は、書き込み式の有無などの利用形態に留意して選定する。
- (13) 汚損・破損等により欠本した図書は、次のことを考慮して補充する。
  - ・複本の有無
  - ・その分野における代替本の有無
  - ・同一図書の増補・改訂版又は類似版の有無

### 2 種別選択基準

#### (1) - 1 一般図書

市民の学習・調査・研究・趣味・レクリエーション・読書等に役立つ資料を選定する。

常に新鮮な蔵書構成を目指し、各分野の資料を体系的に選定する。また、長く読み継がれてきた資料の選定にも留意し、層の厚い蔵書構成になるよう努める。

個々の資料の選定は、市民の要望に十分配慮し、さらに将来予想される要望を考慮して選定する。

- ・各分野の代表的な著作等、一般的な資料を体系的に選定する。
- ・一般向けに書かれた入門書・概説書・解説書を選定する。大学の一般教養課程程度を目安とする。
- ・各分野の代表的な研究書や原典にも留意する。
- ・全集・選集・叢書は主要なものを図書館全体で調整し選定する。
- ・現在までの学問の変遷に留意する。
- ・社会情勢の動向を考慮し、最新の情報が収録された資料を幅広く選定する。
- ・日常生活と関わりが深く、社会的に関心の高い資料を選定する。
- ・時事的なものは、その時々々の市民のニーズを勘案しながら質・量ともに最適なものを提供できるように選定する。
- ・日常生活や娯楽に役立つ実用的な資料を選定する。
- ・読書や鑑賞を楽しめる資料を選定する。

各分野で留意する事項は以下のとおりとする。

#### 0類（総記）

- ①情報科学関係の資料は、技術革新が著しいため最新の情報が収録された資料を選定する。  
情報科学と社会の関わりについて書かれた資料にも留意する。
- ②図書館学資料は、中央館では網羅的に、地域館では事務に必要な程度の資料を選定する。  
近隣の図書館及び関連機関が発行した資料は積極的に選定する。
- ③出版・ジャーナリズム関係のものは、図書館活動に深く関わるため、積極的に選定する。

#### 1類（哲学・思想）

- ①哲学・心理学・倫理学・宗教学等については特定の思想・宗派に偏ることなく、各分野にわたり基本的資料を幅広く選定する。
- ②哲学、東洋思想及び西洋思想の古典は、収集に努める。
- ③心霊研究、相法・易占等は、内容をよく検討し選定する。

#### 2類（歴史・伝記・地理）

- ①歴史関係の資料は、利用が多いため一般向けに書かれた読み物から、入門書・概説書・研究書等多様な視点で書かれた資料を幅広く選定する。  
新しい発見・新説に留意し、関係資料の収集に努める。  
様々な歴史観や学説があるため、それぞれの観点に立った資料の選定に留意する。  
地方史はおおむね県単位で収集する。特に、岩手県及び近隣県の資料は重点的に選定する。  
地方出版の資料にも留意し、各自治体史を中心に選定する。
- ②伝記は日本人、外国人とも幅広く選定する。  
現代の伝記も積極的に選定する。
- ③地理関係の資料は、最新の情報が収録された資料を選定する。

旅行ガイド・観光案内・地図（道路地図・住宅地図・市街地図等）は、可能な限り最新の情報を提供できるように選定する。

岩手県及び花巻市近隣市町村の資料は積極的に選定する。

### 3類（社会科学）

社会科学関係の資料は、社会情勢の変動にあわせ最新の情報が収録された資料を選定する。

また、さまざまな学説や主張があるため、それぞれの観点に立った資料の選定に留意する。

①法律・経済関係の資料は、最新の情報が収録された資料を選定する。

特に、法律の大改正があった場合は、可能な限り最新の情報を提供できるように選定する。

日常生活と関わりの深い実用的な資料の選定にも留意する。

②社会問題・教育関係の資料は、市民の関心が高い分野であるため、最新の情報が収録された関係資料を積極的に選定する。

学校案内等は最新の情報に留意して選定する。

### 4類（自然科学）

①自然科学関係の資料は、進展が著しい分野であるため、常に最新情報の提供に留意する。

写真や図版が適切で、内容が正確で分かりやすい資料を選定する。

高度に専門化されている分野であるため、各分野の入門書・概説書の幅広い収集に努める。

②医学関係の資料は、実用的な各種疾病を解説している資料・健康関係の資料を選定する。

専門的な資料もその利用を勘案し、内容に十分注意し慎重に選定する。

### 5類（技術・工学）

①技術・工学関係の資料は、進展の著しい分野であるため、常に最新情報の提供に留意する。

②環境問題の資料は、日常生活に密着した関心の高い分野であるため、積極的に選定する。

③住宅関係の資料は、利用が多いため実用的な資料を中心に選定する。

④高度な技術書・工学書などの専門書でも利用が見込める場合は選定する。

⑤情報通信関係の資料は、特に最新の情報が収録された資料を選定する。

⑥生活科学関係の資料は、実用的で分かりやすい資料を選定する。

ファッション・料理などについては、流行にも留意する。

⑦企業の動向・業界の情勢等、ビジネスに役立つ資料を積極的に選定する。

### 6類（産業）

①産業関係の資料は、社会の最近の動向について書かれた資料を選定する。

②農業・林業については積極的に選定する。

③園芸・飼育関係の資料は、利用も多いため分かりやすい実用書を幅広く選定する。

④商業・流通関係の資料は、最新情報が収録された資料の選定に留意する。

### 7類（芸術・スポーツ）

教養・趣味・娯楽に役立つよう、理論書・歴史書・解説書だけでなく、制作・実技の技法書・鑑賞するための図書等を選定する。趣味として手がける人が多い分野については、入門書を中心に上級者にも応えられるよう、幅広い収集に努める。また、市民の趣向・流行にも留意する。

- ①美術全集・画集・写真集などは、一般的なものを中心に幅広く選定する。
- ②音楽では、一般的なものを中心に幅広く選定するほか、楽譜の収集にも努める。
- ③スポーツの分野は、ルールの改変に留意する。

登山ガイドは、可能な限り最新の情報を提供できるように選定する。

## 8類（語学）

- ①日本語に関する知識教養・言語の学習・実用に役立つ資料を幅広く選定する。
- ②外国語習得のための初歩的資料・日常会話集等も幅広く選定する。特に、花巻市の国際交流先の国の言語について、留意して選定する。
- ③外国人市民の利用に供することができるよう、日本語教育の資料や日常生活に役立つ資料の選定にも留意する。

## 9類（文学）

- ①国、時代、分野、著者等に偏りのないよう配慮し、幅広く選定する。
- ②ベストセラー等の新刊書については、利用状況に応じ複本の受入にも留意する。
- ③文学全集・個人全集については、幅広く選定する。
- ④ロングセラーの文学作品については、長期的に常時提供できるよう補充に努める。
- ⑤古典文学及び文学史・作家論等文学研究に関する資料は、体系的に幅広く選定する。
- ⑥文庫でしか出版されない作品も多いため、留意して選定する。
- ⑦文学作品については、以下の点に留意して選定する。
  - ・現代の小説、エッセイは、幅広く選定する。
  - ・詩歌、戯曲は、主要な作家のものを中心に選定する。
  - ・翻訳作品は、訳の相違に留意する。
  - ・古典の注釈書、解釈書は、幅広く選定する。また、底本（写本や複製本の原本）の相違に留意する。
  - ・復刻（影印）本は、原本の特色に留意して選定する。

### **(1) - 2 参考図書**

通読を目的とせず、主として特定の知識、情報を得るための資料を「参考図書」とし、常に市民が調査、研究できるよう留意して選定する。

また、選定にあたっては資料媒体の移行や使いやすさの観点から電子資料の収集も検討する。

- ①改訂版に留意し、可能な限り最新の情報を提供できるように選定する。
- ②参考図書は、各分野の専門的かつ網羅的な資料を中心に選定する。
- ③年鑑、白書類は、継続的に選定する。
- ④百科事典は、可能な限り最新の資料を選定する。

- ⑤新聞の縮刷版は保存・提供の観点から可能な限り選定する。
- ⑥製本、装丁が堅牢で、長期の利用に耐える図書を選定する。

### (1) - 3 ティーンズ向け資料

特有の興味関心、悩みを持つ10代の感性に寄り添い、心身の成長を助ける資料を、各分野にわたって幅広く選定する。

音楽・映像資料、雑誌などは、電子資料も考慮し多様な資料の提供に努める。

- ①ティーンズ世代の成長に役立つ教養書等を選定する。
- ②ティーンズ向けに出版されているシリーズや注釈等が多く読みやすい古典名著等を選定する。
- ③単行本だけでなく、文庫本や官公庁がティーンズ向けに発行した資料等にも留意する。
- ④ティーンズ世代の興味関心、好み、流行の移り変わりにも留意する。
- ⑤高校生や専門学生、大学生などの職業選択や進学に役立つ資料、地元企業の情報提供につながる資料は積極的に選定する。

### (1) - 4 高齢者向け資料

人生100年時代を迎えた現代において、高齢者が健康でいきいきと暮らし、地域社会とのつながりを持てるよう、各分野にわたって幅広く選定する。

- ①高齢者の健康づくり、生きがいづくり、就労、社会参加などに関する資料を積極的に選定する。
- ②大活字本など、誰でも読みやすい資料を選定する。
- ③図書資料だけでなく、高齢者が興味関心を持てる音声・映像資料、紙芝居等についても選定する。

### (1) - 5 児童書

幼児から中学生まで幅広い年齢の利用者をかかえる児童図書は、どの年代層においても読書を通じて豊かな人間形成や子どもの文化の育成に役立つ資料を、各分野にわたって幅広く選定する。

特に子どもは、最寄りの図書館を中心に利用するため、各図書館で幅広く資料提供ができるように選定する。

新刊書に加え、長く読み継がれてきたものや定評のあるものは、積極的に選定し複本購入や買い替え等にも留意する。

- ・内容が正確で、客観的な視点から書かれた資料を選定する。
- ・乳幼児及び青少年のそれぞれの発達段階に応じた資料を選定し、公序良俗に反するおそれがあると認められるものは、慎重に検討する。
- ・昔話は、適切な再話、翻訳であることに留意し選定する。また、伝説、神話は、各国各地方にわたり幅広く選定する。
- ・新しい知識、知見や研究動向を紹介した資料、各種のデータが最新で、出典が明記された資料を選定する。

- ・各年齢の子どもに応じた表現がなされており、文章が簡潔で分かりやすく、写真や図、挿し絵等が適切な資料を選定する。
- ・使いやすく、調べやすい目次や索引を備えた資料を選定する。
- ・各主題について、乳幼児及び青少年の興味や関心を引き起こし、さらに発展させる内容の資料を選定する。
- ・学説や主張が対立する主題については、それぞれの観点に立った資料を偏りなく選定する。
- ・観察、見学、実験、実習、創作、実演の記述を含む資料は、青少年に実行可能な、また安全性に問題がないものを選定する。
- ・異文化への理解を深め、国際感覚を養える資料を選定する。
- ・正確で美しい言葉で書かれた資料を選定する。
- ・改訂版、増補版に留意する。

### 絵本

- ①それぞれの発達段階に適した主題、内容の資料を選定する。
- ②表現が豊かで、子どもの想像力、空想力を養うのに十分な資料を選定する。
- ③物事への興味や関心を育むことができるような絵本についても選定する。
- ④絵が文章と調和して、絵本でしか味わえない資料を選定する。
- ⑤原書についても主なものを選定する。

### 児童文学

- ①一人で読書を楽しめるようになった子どものために、発達段階に応じた資料を選定する。
- ②豊かな想像力を養えるものを、古典から新しい創作ものまで幅広く選定する。
- ③構成のしっかりとした内容で、楽しく人気のある資料、長く読み継がれてきた定評のある資料を選定する。
- ④翻訳はできるだけ原作に忠実で、読みやすい訳文のものを選定する。

### 知識の本（0～8類）

- ①子どもの視野を広げる資料を幅広く選定する。
- ②子どもの興味や関心に応えられるもので、それぞれの対象年齢に応じて理解できるように書かれている資料を選定する。
- ③事実に正確な内容のもので、最新の情報が収録された資料を選定する。
- ④内容が分かりやすい学習マンガは、日頃の学習理解を助けるうえで役立つものを選定する。

### 紙芝居

- ①子どもが楽しめる紙芝居で、絵と文の調和がとれているものを選定する。
- ②筋立てのはっきりしたストーリーのものを選定する。
- ③遠見のきく、はっきりした分かりやすい絵のものを選定する。
- ④絵やストーリーを生かす適切な文章表現がされているものを選定する。

- ⑤大きさや絵の構成が、物語の効果を高めているようなものを選定する。
- ⑥紙芝居でしか味わえないものを選定する。

## 児童図書研究資料

- ①児童図書研究資料については、読書案内に関する資料、児童文学史、作家研究などを網羅的に選定する。

### **(1) - 6 外国語資料**

主な記述が日本語以外の言語による資料を「外国語資料」とし、各分野において幅広く収集するよう努める。ただし、出版地を問わない。外国人を対象とした資料については、国際交流協会等関係団体と連携し、ニーズの把握に努める。

- ①各国及び日本についての最新の情報や知見を提供する資料に留意して選定する。
- ②英語をはじめとする欧米諸言語、日本に身近なアジア諸言語、その他花巻市立図書館において利用の見込める言語の資料を選定する。
- ③事典・辞書等の基本資料は、代表的なものを幅広く選定する。
- ④日本の文化や慣習等を紹介する資料は、利用動向に留意して幅広く選定する。
- ⑤各国の歴史や文化・言語等、国際理解のための資料も、幅広く選定する。特に花巻市と交流のある都市の資料について、留意して選定する。
- ⑥花巻市や官公庁が外国人向けに発行した生活に関わる資料等についても留意する。

### **(1) - 7 コミック**

コミックは娯楽として幅広い世代から親しまれているだけでなく、分かりやすく情報を伝え、読書の入り口ともなり得ることから、下記の点に留意して選定する。

- ①評価の定まったもので、できる限り集大成されたものを選定する。
- ②市民の興味、関心の高いものを選定する。
- ③公序良俗に反するおそれがあると認められるものは、慎重に検討する。

### **(2) 逐次刊行物（新聞・雑誌等）**

新聞や雑誌のほか、刊行の終わりが予定されず、一つの標題のもとに継続刊行される図書（文庫、新書等出版社シリーズは除く）を「逐次刊行物」とする。本市や各地域の住民生活に関わりの深い新聞や雑誌等を各分野において幅広く選定し、電子での提供も検討する。

## 新聞

日々の幅広い情報を伝える新聞は、地域新聞と主要全国紙を中心に、外国語新聞・スポーツ新聞等も選定する。

- ①政党新聞など主張の異なる新聞は、数種類選定する。

- ②専門紙は、必要なものを厳選する。

## 雑誌

市民の日常生活に必要となる各分野の一般的な雑誌を中心に、幅広く選定する。

- ①利用者のニーズや流行に留意する。
- ②一般向けだけでなく、児童やティーンズなど各層の要望に応えられるように留意する。
- ③外国語雑誌についても留意する。
- ④様々な利用に応えるため図書館全体として広いジャンルの選定に努める。利用頻度や市内所蔵状況を考慮しつつ、タイトル数の増加に努める。
- ⑤臨時増刊・別冊等の収集にも留意する。

## その他

その他の逐次刊行物は、雑誌・新聞との関連を考慮し、図書と同様の観点で選定する。市外の機関や団体が発行する広報誌等についても選定する。

### **(3) 地域資料・行政資料（郷土資料）**

市民や行政の調査・研究に資するため、また郷土の歴史や文化を伝えるため、花巻市に関する資料を網羅的に選定する。

特に、宮沢賢治や高村光太郎、萬鉄五郎、新渡戸稲造等、本市ゆかりの先人資料について積極的に収集、保存を図るほか、本市にゆかりのある作家等の著書についても可能な限り収集、保存を行う。

また、「花巻市立図書館資料収集方針」3資料収集の分担及び特徴(5)に基づき、各地域の特徴となる人物、文化、地理及び産業等に関する資料は、4館で分担して選定する。

岩手県及び近隣市町村に関する資料は、必要に応じて可能な限り選定する。

## 地域資料

- ・花巻市に関する歴史的資料
- ・花巻市在住者・出身者・在職者の事柄について記された資料及びその人物が記した資料
- ・花巻市にゆかりのある人物に関する資料
- ・花巻市が舞台となっている資料
- ・花巻市という語が使われていないが、花巻市を知る上で必要と認められる資料

## 行政資料

- ・統計書、調査書、概要、報告書、計画書等
- ・月報、年報等
- ・手引書、要覧、便覧・ハンドブック等
- ・行政に関する答申、勧告書等
- ・例規集
- ・広報

## 機関、団体の著作物

- ・博物館等文化施設が発行する著作物
- ・教育機関、研究機関、企業等が発行する著作物

## 地図

- ・住宅地図、道路地図
- ・地形図、地質図、土地利用図、ハザードマップ等の一枚ものの地図
- ・古地図

## その他

- ・花巻市内で発行された雑誌、パンフレット、リーフレット、写真等
- ・花巻市内の企業に関する資料等
- ・その他の市町村で発行されたパンフレット、リーフレット等

### **(4) 視聴覚資料（音声・映像資料）**

視聴覚資料は、音声や映像など活字資料では得られない魅力があり、娯楽として、教養や文化を高めるメディアとして、CD や DVD 等のほか、新しいメディアに対応した資料についても幅広く選定する。なお、収集にあたっては幼児・児童から高齢者まで幅広いニーズに対応した資料を選定する。

## 音楽・音響資料

①朗読資料は、原作を基に朗読されたものを選定する。

落語など話芸・伝統芸能についても選定する。

②音楽資料は、クラシック・ポピュラー・ジャズ・民族音楽等、あらゆるジャンルの一般的な作品及び代表的な演者の作品等を網羅的に選定する。また、同じ作品であっても、演奏家・指揮者等が異なる資料の選定についても留意する。

市民のニーズに応えられるように流行や話題性があり優れている作品にも留意する。

③音響・効果音資料は、市民のニーズに応じて選定する。

## 映像資料

①歴史映像資料、文化・生活映像資料は、記録的価値の高いものを中心に選定する。

②劇映画は、著名な賞を受賞した資料、公的機関の推奨資料を参考に、市民のニーズに応じて選定する。

③音楽映像資料は、古典芸能、民俗芸能、クラシック音楽を優先的に選定する。

### **(5) 障がいのある方のための資料**

図書館利用に障がいのある方にも図書館サービスを届けられるよう、多様なニーズに基づき読書における障がいを軽減する資料を選定する。収集する資料の種類は以下のとおりとする。

なお、視聴覚障がい者支援センター等の関係団体と連携し資料収集及び提供に努める。

- ・録音図書
- ・映像資料（バリアフリー対応のものを優先）
- ・大活字本（一般書、児童書）
- ・点字図書
- ・DAISY 図書、マルチメディア DAISY ※1
- ・LL ブック ※2
- ・その他、各種関係団体発行の資料やパンフレットなど

#### ※1 DAISY (デイジー) (Digital Accessible Information System)

活字による読書が困難な人々のための国際的なデジタル録音資料制作システム。当初は 1997 年の IFLA 大会で採用された視覚障害者のための録音図書制作システムであったが、近年は音声だけでなく、画像やテキストデータとともにインターネットでも提供できるマルチメディア対応型記録媒体となっている。(日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編『図書館情報学用語辞典第 5 版』丸善出版、2020 年、157 頁)

#### ※2 LL (エルエル)ブック

LL ブックは、知的障害者や外国にルーツのある人などのために、読みやすいように工夫して作られた本のこと。やさしく読みやすく書かれた文章。ピクトグラム（絵記号）、イラストや写真などを使って作られることが多い。スウェーデンで今から 50 年ほど前に作られ始めた LL ブックは、現在では世界中に広がっている。LL は、スウェーデン語でやさしくて読みやすいを意味する Lättläst の略語である。英語圏では、「easy to read」「easy to understand」などと呼ばれることもある。日本では、2000 年代以降、出版が徐々に増えつつある。(野口武悟監修『図書館のためのバリアフリー資料目録』日外アソシエーツ、2022 年、310 頁)

### (6) 電子資料

市民のニーズに応じて、アクセシブルな電子書籍など電子資料の特徴を活かせるものを選定する。収集する資料の種類は以下のとおりとする。

- ・電子書籍
- ・オンラインデータベース
- ・デジタルアーカイブ
- ・その他の電子出版物

### (7) その他

市民のニーズに応じて、複製絵画・おもちゃ・ボードゲーム等も資料として収集する。

附 則

この方針は平成21年4月1日から施行する。

附 則

この方針は平成26年1月1日から施行する。

附 則

この方針は令和8年4月1日から施行する。(全部改正)